

# 業務の状況：デリバティブ取引

## 1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごとの決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

- (1) 金利関連取引 [平成22年3月期・平成23年3月期] 該当ございません。
- (2) 通貨関連取引 [平成22年3月期・平成23年3月期] 該当ございません。
- (3) 株式関連取引 [平成22年3月期・平成23年3月期] 該当ございません。
- (4) 債券関連取引 [平成22年3月期・平成23年3月期] 該当ございません。
- (5) 商品関連取引 [平成22年3月期・平成23年3月期] 該当ございません。
- (6) フレジットデリバティブ取引 [平成22年3月期・平成23年3月期] 該当ございません。
- (7) 複合金融商品関連取引

(単位：百万円)

区分	種類	平成22年3月期				平成23年3月期			
		契約額等	契約額等のうち 1年超のもの	時価	評価損益	契約額等	契約額等のうち 1年超のもの	時価	評価損益
市場取引以外の取引	複合金融商品 (貸出金)	5,000	5,000	4,823	△176	2,000	—	1,938	△61
合計		5,000	5,000	4,823	△176	2,000	—	1,938	△61

### (注) 1. 時価の算定方法

時価については取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。

2. 組込デリバティブについては、時価の測定を合理的に区分して測定できないため、当該複合金融商品全体を時価評価し、評価損益を貸借対照表のその他負債に計上しております。
3. 平成22年3月期においては、平成21年3月期末からの評価損益差額である370百万円を、平成23年3月期においては、平成22年3月期末からの評価損益差額である115百万円を、それぞれ損益計算書のその他業務収益に計上しております。
4. 契約額等については、当該複合金融商品の購入金額を表示しております。

## 2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごと、ヘッジ会計の方法別の決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額及び時価並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

### (1) 金利関連取引

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	平成22年3月期				平成23年3月期			
		主なヘッジ対象	契約額等	契約額等のうち 1年超のもの	時価	主なヘッジ対象	契約額等	契約額等のうち 1年超のもの	時価
金利スワップの特例処理	金利スワップ 受取固定・支払変動 受取変動・支払固定	貸出金・預金	2,978	—	(注)	貸出金	—	—	(注)
合計		—	22,390	22,390	—	20,868	20,868	—	—

(注) 金利スワップの特例処理によるものは、平成22年3月期においてはヘッジ対象とされている貸出金・預金と一体として処理、平成23年3月期においてはヘッジ対象とされている貸出金と一体として処理されているため、その時価は本表に記載していません。

- (2) 通貨関連取引 [平成22年3月期・平成23年3月期] 該当ございません。
- (3) 株式関連取引 [平成22年3月期・平成23年3月期] 該当ございません。
- (4) 債券関連取引 [平成22年3月期・平成23年3月期] 該当ございません。